

3 自然動態

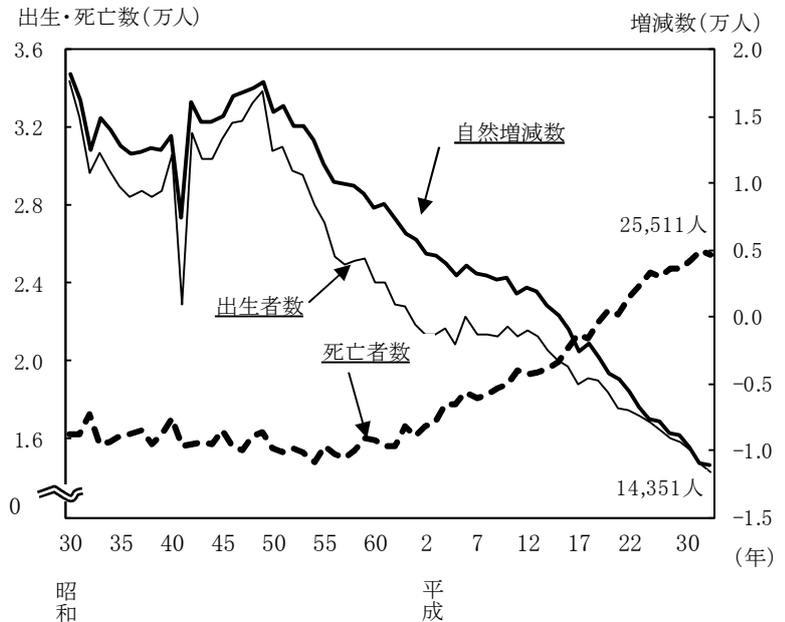
自然増減数 △ 11,160人 前年比 △ 185人

平成 30 年中の自然動態をみると、出生者数が 14,351 人で、前年に比べ 377 人減少し、死亡者数は 25,511 人で、前年に比べ 192 人減少しています。

昭和 30 年以降の自然増減数の推移をみると、昭和 41 年のひのえうまの大きな減少を除き、増減が繰り返されたものの、昭和 49 年まで増加傾向となっていました。その後急速に減少傾向となっています。

また、平成 16 年に死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じてからは、15 年連続で自然減となっています。(図6、5ページ 表2)

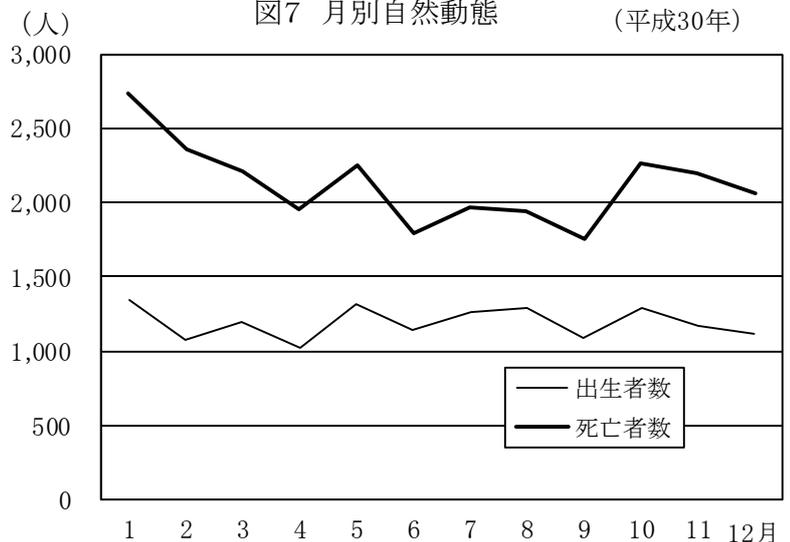
図6 自然動態の推移



出生者数を上回る死亡者数

平成 30 年の各月の自然動態をみると、各月とも死亡者数が出生者数を上回っています。(図7)

図7 月別自然動態 (平成30年)



自然増加 1村 自然減少 76市町村

自然動態を市町村別にみると、1村が自然増加、76市町村で自然減少となっています。

自然増減率が最も高いのは、南箕輪村の 0.01%となっています。

一方、最も低いのは、天龍村の△3.29%で、以下 平谷村△2.75%、栄村△2.75%の順となっています。

(6ページ 表3)